

# 田村市の文化財

## 『旧大越娯楽場』

関教育部生涯学習課 81・1215

2007（平成19）年7月31日に田村市初の国登録有形文化財となった旧大越娯楽場（以下、娯楽場）は、大越町上大越字町1番地にあります。

今から96年前の1926（大正15）年5月に完成した娯楽場は、正面が左右対称な切妻屋根の当時としてはかなりモダンな欧風建築で、内部には舞台や、桟敷席などが設けられ、芝居や映画などの興行が行われました。また、当時の主要産業であった、たばこや繭の集出荷場としても利用されました。

この娯楽場建設に大きく関わった人物に宗像利吉と今和次郎がいます。上大越に生まれた宗像利吉は、若い頃から「たばこ作りの名人」と呼ばれ、田村地方はもとより福島県の葉たばこ耕作発展に大きく貢献し、全国煙草耕作組合中央会副会長などの要職を務めました。その利吉が力

を注いだものに農村生活者の生活向上もありました。若者の農村離れを心配し、農村にも娯楽が必要と考えた利吉は、1921（大正10）年に親交のあった国の役人を介し、早稲田大学教授であった今和次郎に娯楽場設計を依頼します。日本各地の古民家調査を経て農村建築研究への造詣を深めていた和次郎はその依頼を受け、設計に着手し、農村には珍しい洋風な外観を持つ劇場建造物が完成しました。

しかし、太平洋戦争や時代の変化とともに娯楽の文化も変わり、劇場としての利用がほとんどなくなつたため、1955（昭和30）年頃に舞台や桟敷席が取り払われるなどの改修後、大越町公民館や教育員会事務室などに使われ、現在は大越武道館と改称し利用されています。建築学者・今和次郎の設計で、建て替えが行われず、当

時のモダンな外観を維持している建造物は全国でもこの娯楽場しかなく、1945（昭和20）年8月の大越大空襲や2011（平成23）年3月の大地震などをくぐりぬけてきた市の歴史を語る上で誇るべき建造物です。なお、娯楽場設計図などの

今和次郎関連資料を有する工学院大学が作製した娯楽場の模型が市に寄贈されており、その模型が6月4日から福島県立美術館で開催される企画展「東北へのまなざし1930-1945」で展示されますので来場された際はぜひご覧ください。



1 正面外観  
2 内部の様子  
天井や柱などは当初の形態を保っています

今回は、「前田遺跡」をはじめとした市内の遺跡について紹介する予定です。田村市の文化財一覧はこちら▶▶▶



### 地域おこし協力隊奮闘記

## 低姿勢の夢追い人 vol.01



### 佐々木 馨 ▼プロフィール

出身は岩手県で、地元岩手県立大学総合政策学部を卒業後、埼玉県で建設会社に勤務。はじめて地元を離れて右も左も分からぬ土地で、ひたすら名刺を置いて歩き回る日々を送る。その後、縁があり、教育の道に転身。宮城県で学習塾の教室責任者として、地域の皆さんの学習相談、進路相談に携わる。福島県を旅行した際にその魅力を知り、田村市の地域おこし協力隊に就任。

皆さん、はじめまして。4月から地域おこし協力隊に就任しました、佐々木馨と申します。どうぞよろしくお願ひします。

「まずはまず先の見えない時代、今できることをやろう。自分の将来のために」学習塾の教師として、私が生徒たちに声をかけてきた言葉です。やりたくないこと、大変なことはたくさんあります。私自身の道が平たんではなかったからこそ、いつかくるチャレンジの時に備えて、努力の大切さを知ってもらいたかったのです。同時にその言葉は自分自身にも投げかけられていました。

私が田村市への移住を決意したのは、自然豊かで、すこしゆつたりとした時間が流れるこの土地がとても気に入ったからです。自分が生まれ育った田舎とどこか似ている田村の環境がすぐに好きになりました。それまで暮らしていた仙台市での暮らしも便利で気に入ってはいましたが、自分には人や時間の流れが早く感じられていました。

そんな時、偶然に旅行先として選んだ福島県で、景色の美しさとそこに住んでいる人たちの温かさを知りました。宿泊先のコテージではオーナー夫妻にとっても親切にしていたとき、お礼の言葉を述べると、素敵な笑顔と優しい言葉をかけられ、真っ赤なりんごまでいただきました。その時に私は、自

分が生まれ育った故郷を思い出し、そのことがとても懐かしく感じられ、この土地に憧れるようになりしました。故郷のような田舎で生活がしたい。そのように考えていた際に偶然、田村市のことを知り、地域のことを考え、課題解決や魅力づくりへ突進する人たちがたくさんいると分かり、ぜひ私も仲間に入れていただきたいとやって来ました。

今後は、移住して起業する方や働いている方のサポートを担当させていただく予定です。自分の将来のために努力し、チャレンジする方を一生懸命、応援させていただきます。これからどうぞよろしくお願ひします。



キャンプでの一コマ

広告欄 Advertisement

# 有料広告募集中

問い合わせ…総務部 総務課 (☎0247-81-2117) へ